

公 表

第59回 技能五輪全国大会「タイル張り」職種採点基準

1 採点項目及び配点

採点項目及び最大の減点数は、次のとおりとする。

採点項目		最大減点数	
施工法	段取り	手順の良否・墨の出し方・表し方。	5
		図面の見方・製作図の作り方。	
		タイルの割付け。	
		タイル加工・仕上げ方。	
	張付け	モルタルの扱い方。	
		こてさばき・張り方・納め方。	
	仕上げ	目地の掘り方・塗り付け。	
		仕上げ方・清掃の方法。	
外観	目地のとおり・目地幅のそろい。	8	
	水平・垂直・平面精度。		
	張付け周囲のモルタル処理。		
	加工タイルの仕上がり具合。		
	総体的な出来栄え。		
	清掃の良否。		
材料・再請求	追加支給したタイル。	100 以上	
作業時間	標準時間及び打切時間からの超過時間を測る。	60	
精度	寸法	任意の 10 箇所を測定する。 測定箇所は、構造全体が 6 箇所（高さ：2 箇所、幅：4 箇所）、加工タイルが 4 箇所である。	100 以上
	角度	角度（90 度）を確認するため、任意の 9 箇所にさしがねを当てその間隙を隙間ゲージで測定する。 測定箇所は、壁面と床面との角度が 6 箇所、施工面の角度が 3 箇所である。	
	平面	平滑性を確認するため、施工面や端面の任意の 8 箇所に定規を当て隙間を測定する。 測定箇所は、施工面が 3 箇所、端面が 5 箇所である。	
	水平・垂直	水平性・垂直性を確認するため、任意の 5 箇所に水準器を水平・垂直に当てタイルとの間隙の最大値を隙間ゲージで測定する。測定箇所は、壁面の垂直が 2 箇所、壁面・床面の水平が 3 箇所である。	
仕様誤り (不良施工)	墨出しをしないで作業した。	100 以上	
	タイル加工用の製作図を作成しないでタイル加工した。		
	競技課題図に基づいて製作していない。		
	割れたり欠けたタイルを張っている。		
	表面に傷のあるタイルを張っている。		

仕様誤り (不良施工)		寸法を誤って切断したタイルを張っている。	
		切物の向け方を誤ったもの。	
		目地掘りをしていない。	
作業態度	不安全作業	自分が怪我をした。	30
		他人に著しく迷惑をかけた。	
		作業に適した服装をしていない。	
	整理整頓	整理・整頓が悪い。	
材料・工具等の取扱いが悪い。			
抜取検査		任意の数箇所におけるタイル裏面のモルタルの付き具合及び回り具合。	36

2 採点方式

採点は、減点方式とし、「項目別採点基準」に示す採点項目ごとに減点を行い、配点100点から減点総計を差し引いたものを最終得点とする。

なお、最終得点がマイナス点となる場合は、0点として処理する。